

天橋立の適正な管理を実現する3つの管理に関する事項

松林の管理

【目的・方向】

- ・白砂青松らしく、下草のないマツ林にする。
- ・橋立明神付近は広葉樹林とする。
- ・名木の保全と併せて、将来の名木も育てる。
- ・地上部と地下部のバランスの取れたマツにする。

○マツ林保全

- 下草刈り
- 地面表層の草本と腐植の除去
- 落ち葉かき
- 高齢マツの根系回復
- 支柱の設置
- 後継樹育成、植樹（枯死マツ等跡地への植樹）
- 適度な間伐・除伐
- 整枝剪定
- 踏み改善
- マツ林の巡視
- 命名マツ後継樹の育成（接ぎ木等）

○マツ枯れ対策

- 後食時期の薬剤散布
- 枯死マツの伐倒、持ち出し
- 周辺林枯死マツの処理

砂州の管理

【目的・方向】

- ・放置するとやせ細る砂州を維持する。

- 飛砂防止のための下草等の植え付け
- 突堤の設置
- サンドバイパス工

(留意すべき点)

- ・白砂の供給地・供給路の環境確保

利用の管理

【目的・方向】

- ・天橋立の環境保全とのバランスを保ちながら利用を図る。

- 園内清掃
- 遊歩道保護のため、松並木の欠損箇所の補植
- ビジターコントロール（入り込み調整、ゾーニング）
- 環境保全のための保護官配置
- 磯清水に関連し、近くの便所の水洗化
- 通行車の規制（許可の制限、阻止具の設置）
- 双龍のマツモニュメントの整備
- 生活道路としての利便性の確保

(留意すべき点)

- ・モラルの向上（ゴミ散乱、らくがき）
- ・禁煙、分煙スペースの設置

その他の天橋立に関する課題

- ・阿蘇海の水質浄化
- ・魚類産卵場の確保と水生生物保護
- ・動植物・水鳥などのための環境保護
- ・耕地・住宅地への塩害防止
- ・水上バイクなどの乗り入れ防止
- ・環境・景観の美化保全
- ・地球温暖化による地下水位の上昇の危機

持続可能とするための工夫

- ・天橋立の適正な管理の持続可能性を高める。

情報発信、管理拠点、利用拠点等多機能を有するビジターセンターの設置

(留意すべき点)

- ・子供が自分で感じることの大切さに配慮する。

多様な主体の参画

バランスを取る

併合可能

併合可能

バランスを取る

併合可能